

おばあちゃんを助けよう

魚住東中学校 二年 伏見 ふしみ 日陽 ひより

このテーマにした理由は、高齢者の問題の1つである老老介護が身近で起こっているからです。

テレビや新聞などのニュースや記事で老老介護による事件の話聞いたことがあります。例えば、40年間介護を続けてきた夫が車いすごと海に突き落として妻を殺害したという事件がありました。僕は、40年もの間、介護をするということ想像してみました。最初は40年間はとても長いので、大変だと思いました。しかし、介護される人が介護する人にとって大切な人だったらと思うと大変だという言葉では言えないくらい難しいことだと思いました。

僕のおばあちゃんは、ひいおばあちゃんの介護をしています。朝、昼、晩の三食のご飯を決まった時間に作り一緒に食べています。その時間の間に、洗濯をしたり畑仕事をしたり買い物に行ったり掃除をしたりしています。おばあちゃんは、とても忙しそうに見えます。

すこし前に、ひいおばあちゃんは、歩くことがしんどくな
ってきました。そこで、おばあちゃんだけでなく、僕達みん
なで考えを出し合いました。そして、外で利用していたシル
バーカーをヒントに、室内用のシルバーカーをプレゼントす
ることにしました。ひいおばあちゃんは、シルバーカーを使
って歩きやすくなりました。

しかし、少しずつシルバーカーを使っても歩くことやトイ
レに行くことやお風呂に入ることもしんどくなってしまし
た。すると、ひいおばあちゃんが「みんなの迷惑になるな。
施設に入ろうかな」と言いました。それを聞いて、僕はもっ
とひいおばあちゃんと一緒にいたいと思いました。そこで、
またみんなで話し合いました。そして、部屋の壁やトイレ、
お風呂には手すりをつけ、段差には小さなスロープをつける
ことにしました。ひいおばあちゃんは、歩きやすくなったの
でとても喜んでいました。僕も、ひいおばあちゃんと一緒に
過ごせるので、とてもうれしいです。

このように、ひいおばあちゃんのためにみんなが考えを出
し合っていることは、ひいおばあちゃんのことを大切だと思

っているからです。僕達は、協力しながら介護をしています。ひいおばあちゃんが、おばあちゃんに迷惑をかけているという気持ちを少しでもなくしてあげたいです。そのために、僕はおばあちゃんの手伝いをしたいです。

介護をする人がしんどくなったり辛くなったりしないように、手伝う人が必要だと思います。僕達のように親せきで、助け合えない人には、施設の人に来てもらったり、施設にいたりできるような制度が、簡単に利用できたらいいと思います。介護する人も介護される人も、しんどくなったり辛くないような社会になっていければいいと思います。